

本書は、入退室管理システム デイリPLUS(以下デイリPLUSと表わします)のコンパクトフラッシュ交換によるバージョンアップの手順を記載したものです。

本書は、以下の条件のデイリPLUSに適用可能です。

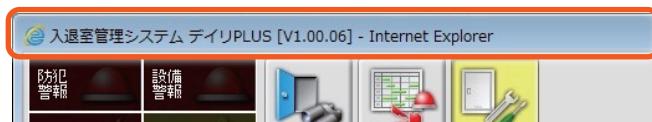
項目	要件
ソフトバージョン	1.00.06以上
ネットワーク2 IPアドレス	192.168.0.245
ネットワーク1 IPアドレス	イントラネット等(お客様IPアドレス)からPC接続

## 事前確認

### ①バージョンの確認

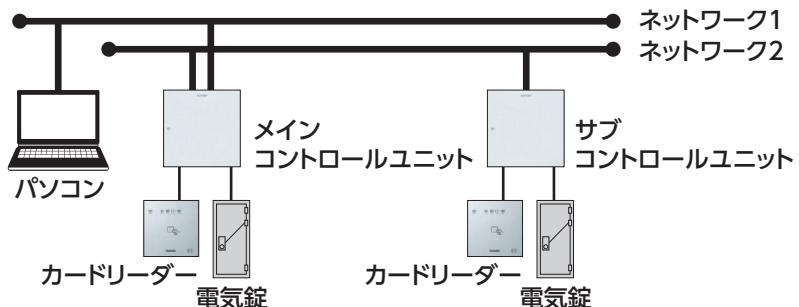
デイリPLUSのバージョンが**1.00.06以上**であることを確認してください。

バージョンは、お使いの画面のタイトルバーに表示されています。



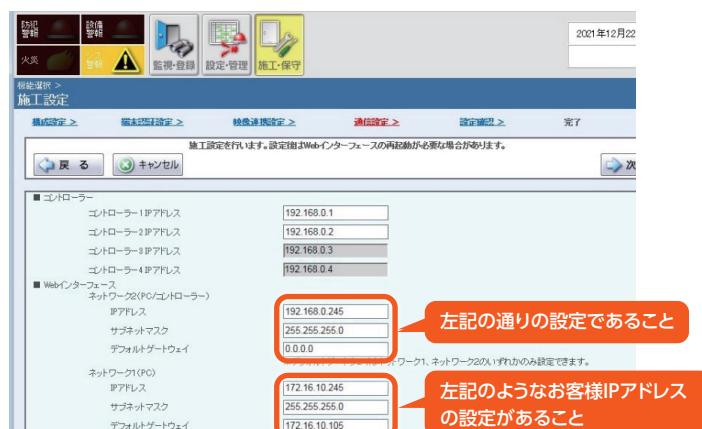
### ②ネットワーク(IPアドレス)の確認

デイリPLUSに設定しているIPアドレスにより、作業手順が異なりますので、以下の内容を確認してください。



施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)して、施工設定画面の通信設定が右記のように、ネットワーク2とネットワーク1側にもIPアドレス設定があることを確認してください。

**設定値は必ず記録しておいてください。**



デイリPLUSのバージョンアップにあたり以下の注意事項がありますので、事前にご確認ください。

#### 注意事項

**①納入後7年以上経過しているコントロールユニットは、  
アップデートできません。リプレイスを検討ください。**

**②バージョンアップのためのコンパクトフラッシュは、事前にご購入ください。**

品番：E-A530-Z0001

デイリPLUSをご購入頂いた業者または施工店にご用命ください。

**③過去履歴は移行できません。**

過去履歴(直近の1万件以前の履歴)は移行できません。必要な場合は、事前にCSVファイルに出力・保存してください。

取扱説明書 操作画面編の「5.4 過去履歴検索・表示」を参照ください。

**④作業中、カード認証・電気錠の施解錠が行えません。**

メインコントロールユニットの電源をOFFしている間、メインコントロールユニットに接続されたカードリーダー、電気錠が動作しません。また、電気錠の種類によっては解錠状態になります。(通常電時施錠型の電気錠の場合、解錠されます)

**⑤作業用パソコンをご用意ください。**

IPアドレス192.168.0.245に接続できるように設定した作業用パソコンを使用して、CF交換後にIPアドレス設定と時刻設定を行います。

取扱説明書(導入ガイド)の「4.2.2 作業用パソコンからWebインターフェースへのアクセス」を参照ください。

**⑥取扱説明書(導入ガイド)をご用意ください。**

デイリPLUSに同梱されている取扱説明書(導入ガイド)をご用意ください。

作業に必要なログインユーザー名、パスワードが記載されています。

## システムデータ取得

### システムデータを取得します。

通常使用しているネットワーク1に接続されているパソコン(以下、ユーザーPC)にて、施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)して、システムデータを取得します。

設定・管理メニューの「システムデータバックアップ」アイコン(図1)をクリックし、システムデータをバックアップ(ファイル保存)してください(図2)。

作業目安:8~20分



図1 設定・管理メニュー

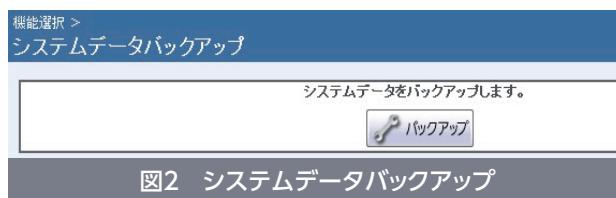


図2 システムデータバックアップ

## コンパクトフラッシュの交換

### 「設定・管理」の「再起動・終了」よりシステム終了します。

「設定・管理」メニューの「再起動・終了」アイコン(図1)をクリックし、「終了」(図3)をクリックします。

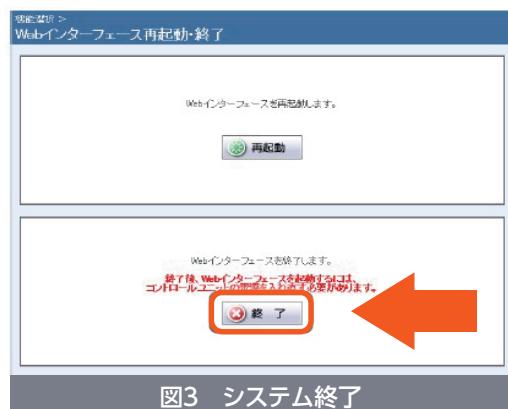


図3 システム終了

## 2-2

メインコントロールユニットの扉を開け、メモリバックアップ電池・停電補償電池のコネクターを抜きます。メモリバックアップ電池は、2-6.で2分以上空けてから繋ぎます。

写真1の○印のコネクターを抜きます。

×印の電池は抜かないでください。

メインコントロールユニットだけの作業です。

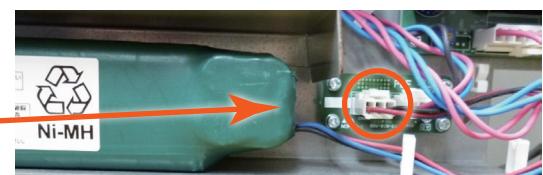
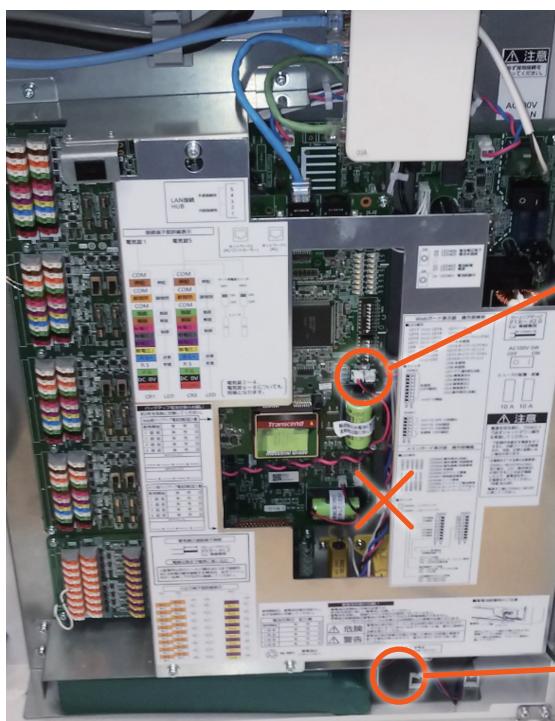


写真1 電池

## 2-3

ネットワーク2(左側)に挿さっているLANケーブルを抜き、  
作業用PCとつながっているLANケーブルを挿します。

4-2.で元に戻しますので、LANケーブルの接続状態の写真を撮っておくことをお勧めします。

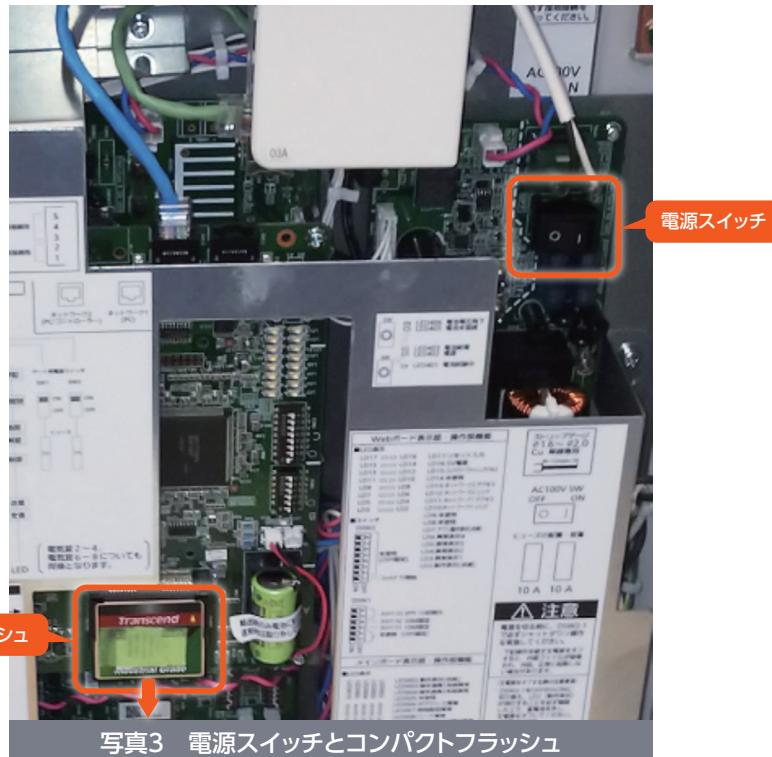


写真2 LANケーブル

#### 2-4

##### メインボードの電源スイッチをOFFします。

写真3の電源スイッチをOFFします。



#### 2-5

##### コンパクトフラッシュ(CF)を交換します。

写真3のコンパクトフラッシュを、両側のCFスロットガイドに沿って真下にゆっくり引き抜きます。次に新しく購入したコンパクトフラッシュを両側のCFスロットガイドに沿って真下からゆっくり挿し込みます。

この時、本体側のCFスロットガイドやガイドピンを折らない(曲げない)ように慎重にまっすぐ挿し込んでください。

#### 2-6

##### 2-2.で抜いた停電補償電池・メモリバックアップ電池のコネクターを挿します。

挿し込む順番はありませんが、メモリバックアップ電池は、抜いてから必ず2分以上あけてから挿してください。

#### 2-7

##### メインボードの電源スイッチをONします。

写真3の電源スイッチをONします。

## 3

## 3-1

## 初期設定 (時刻設定、IPアドレス設定)

再起動の完了(約3~5分)を待ち、**作業用パソコン**より「192.168.0.245」に、施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)します。



図4 施工・保守メニュー

正しく画面が表示されない場合は、Microsoft Edgeの設定画面にて、「閲覧データをクリア」[Internet Explorerの閲覧データをクリアする]を実施してください。

## 3-2

## 「施工・保守」の「時計設定」(図4)で日時を設定します。

**2015年1月1日0:00**になりますので、必ず現在日時に設定してください。パソコンの時計が合っていれば、「パソコンの年月日時刻を取得して入力」をクリックし、設定すると便利です。



図5 時計設定

### 3-3

「施工・保守」-「施工設定」の通信設定で、ネットワーク1(PC)のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを元の設定値(お客様IP)に書き換えます。

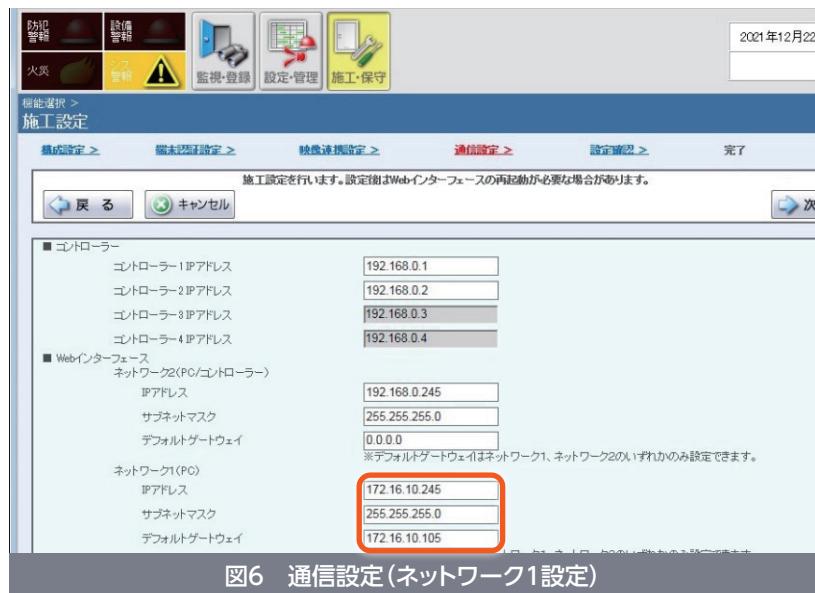


図6 通信設定(ネットワーク1設定)

### 3-4

設定を保存して、Webインターフェースの再起動を行います。

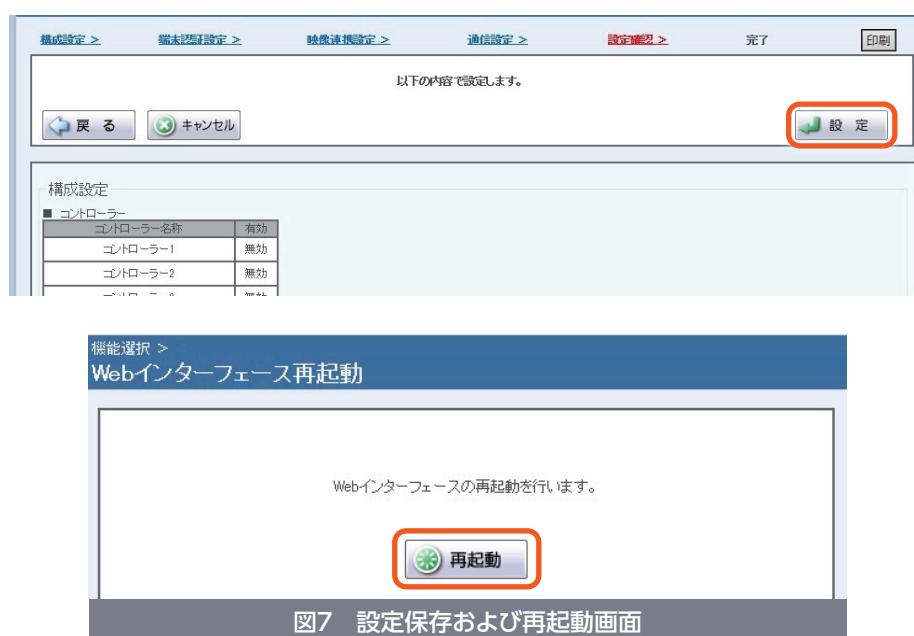


図7 設定保存および再起動画面

作業用PCでの作業は終了です。以降はユーザーPCを使用します。

## 4

## 4-1

## システムデータの復旧

再起動の完了(約3~5分)を待ち、**ユーザーPC**にて施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)し、「施工・保守」の「システムデータリストア」(図8)でシステムデータを復元します。

画面の指示に従って、1.システムデータ取得で保存したファイル(sys\_backup.tar.gz)をアップロード→リストア→再起動してください。

作業目安:5~10分



図8 システムデータリストア



図9 再起動画面

『他の処理を実行中ですが、Webインターフェースを再起動します。よろしいですか?』というメッセージが出た場合は、「OK」を押してください。

## 4-2

再起動が完了(約3~5分)し、ログイン可能になったら、  
作業用PCとつながっている  
LANケーブルを抜き、メインボード、  
他のコントロールユニットと接続している  
LANケーブルを元通り接続します。

2-3.で繋ぎ変えたLANケーブルを元に戻します。  
メインコントロールユニットの扉を閉めてください。



写真4 LANケーブル

## 5

## 5-1

## 動作確認

「施工・保守」メニューのコントローラー管理(図10)の画面を開き、接続状態と設定データがOKになることを確認してください。  
「状態更新」ボタンで表示を更新します。

作業目安:5~20分



図10 コントローラー管理

すべて選択		選択解除	データ時刻: 2016年01月16日 10:10		
選択	ユニット番号	名前	コントローラ種別	接続状態	設定データ
<input type="checkbox"/>	001	コントローラ1	電気盤CTL	OK	OK
<input type="checkbox"/>	002	コントローラ2	電気盤CTL	OK	OK

図11 コントローラー管理の確認

## 5-2

「監視・登録」メニューの警報画面(図12)を開き、異常が発生していない(CTL通信異常、タンパ異常等が復旧している)ことを確認してください。



図12 警報表示と最新履歴の確認

## 5-3

「監視・登録」メニューの最新履歴(図12)画面を開き、履歴が記録されていることを確認してください。

### 5-4

「施工・保守」メニューのメンテナンスモード画面(図13)を開き、メンテナンスモードを無効化します。



図13 メンテナンスモード



図14 メンテナンスモードの無効化

## 6

### 6-1

#### Microsoft Edgeの設定

(従来のPCを継続利用する場合)  
現在Microsoft EdgeのIEモードで使用中の場合は、別紙 IEモード解除手順書を参照いただき、解除します。

### 6-2

(従来のPCを継続する場合、新しいPCを使用する場合共通)  
別紙 Microsoft Edge設定手順書を参照いただき、ブラウザ設定を実施します。

以上

### 付録1

#### 施工・保守用のオペレータIDでログインできない場合、 「施工・保守」メニューが表示されない場合

取扱説明書(導入ガイド)の「4.2.2 作業用パソコンからWebインターフェースへのアクセス」に記載されたオペレータIDとパスワードでログインする必要があります。

このオペレータでログインするにはメンテナンスマード起動中になっている必要があります。メンテナンスマードになっている場合は、画面右上の日時表示の下にメンテナンスマード起動中と表示されます。(警報発生中は表示されません)

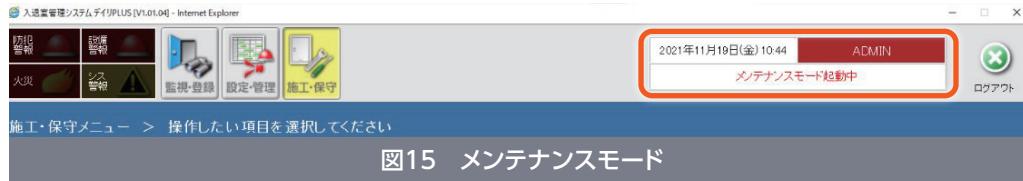


図15 メンテナンスマード

メンテナンスマード起動中となっていない場合は、システム管理者でログインし、「設定・管理」メニューのメンテナンスマード画面よりメンテナンスマードの有効化を行ってください。

システム管理者の初期登録は、取扱説明書(導入ガイド)の「6 基本操作」に記載しています。

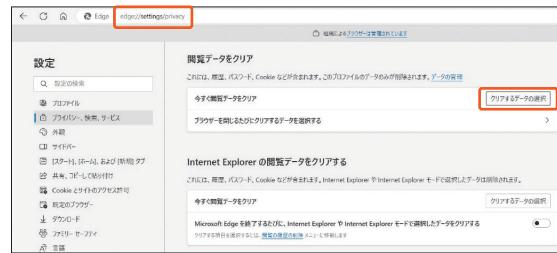
## 付録2 正しく画面が表示されない場合

Microsoft Edgeの設定画面にて、「閲覧データをクリア」「Internet Explorerの閲覧データをクリアする」を実施してください。

### Internet Explorerのキャッシュクリア・Microsoft Edgeのキャッシュクリア

#### Microsoft Edgeのキャッシュクリア

- 01** Microsoft Edgeを起動してURL欄に「edge://settings/privacy」を入力し、Enterキーを押す。  
閲覧データをクリアで、「クリアするデータの選択」を押す。



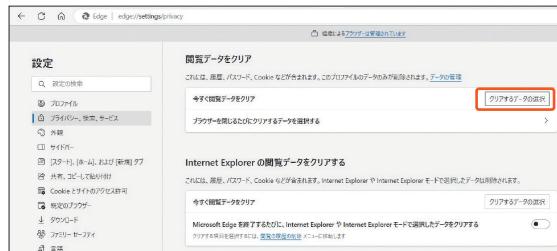
- 02** 時間の範囲で、「すべての期間」を選択する

- ・「閲覧の履歴」のチェックを外す
- ・「ダウンロードの履歴」にチェックを付ける
- ・「Cookieおよびその他のサイトデータ」にチェックを付ける
- ・「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを付ける
- ・「パスワード」にチェックを付ける
- ・「オートフィルフォームデータ(フォームやカードを含む)」にチェックを付ける
- ・「サイトのアクセス許可」にチェックを付ける
- ・「以前のバージョンのMicrosoft Edgeのすべてのデータ」にチェックを付ける
- ・「メディアファンデーションデータ」にチェックを付ける

「今すぐクリア」を押す

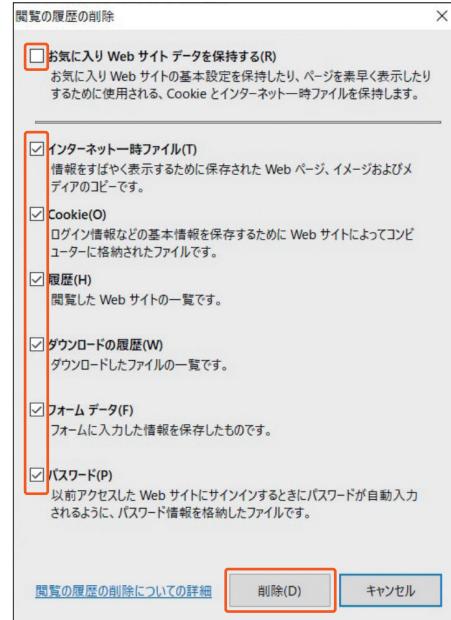


- 03** 01と同じ画面のInternet Explorerの閲覧データをクリアするで、「クリアするデータの選択」を押す



### 04

- ・「お気に入りWebサイトデータを保持する(R)」のチェックを外す
- ・「インターネット一時ファイル(T)」にチェックを付ける
- ・「Cookie(O)」にチェックを付ける
- ・「履歴(H)」にチェックを付ける
- ・「ダウンロードの履歴(W)」にチェックを付ける
- ・「フォームデータ(F)」にチェックを付ける
- ・「パスワード(P)」にチェックを付ける
- 「削除(D)」を押す



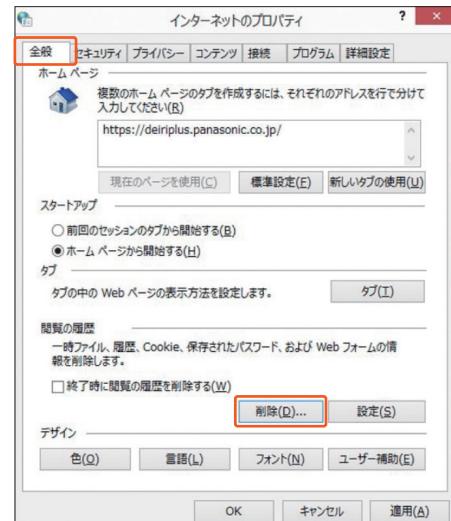
### Internet Explorerのキャッシュクリア手順

### 05

- Windowsのデスクトップでスタートボタンを右クリック(Windows7の場合は、クリック)し、メニューから「コントロールパネル」を開き、以下を開く(「ネットワークとインターネット」→)「インターネットオプション」
- Windows10 RS2 以降は、スタートメニューのWindowsシステムツール内の「コントロールパネル」を開きます。

### 06

- 「全般」タブの「削除」を押す



### 07

- 「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」にチェックを入れる

### 08

- 「お気に入りWebサイトデータを保持する」のチェックを外す

### 09

- 「削除」を押す

### 10

- 「OK」を押す

### 11

- 「コントロールパネル」画面右上隅の「X」を押し、設定を終了する

